

「周南地域の子どものための 日本語支援活動に向けての環境整備」

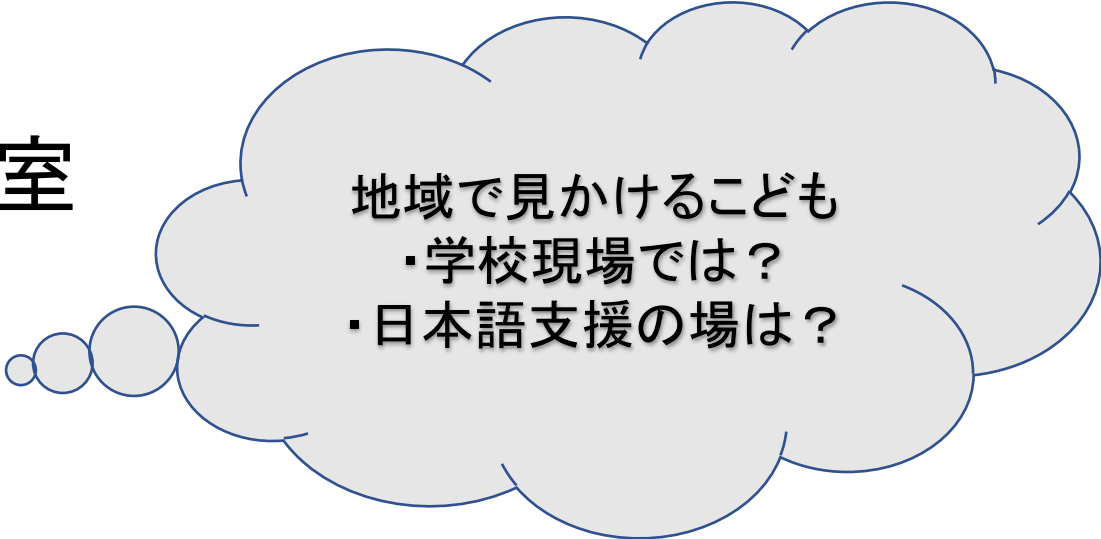
子どもの日本語教室 「こどもにほんごクラブ」の実践活動



日本語クラブ周南
田辺ひかり

山口県周南地域の日本語教育

- 生活者のための地域日本語教室
- 対話型交流クラス



地域で見かけるこども
・学校現場では？
・日本語支援の場は？

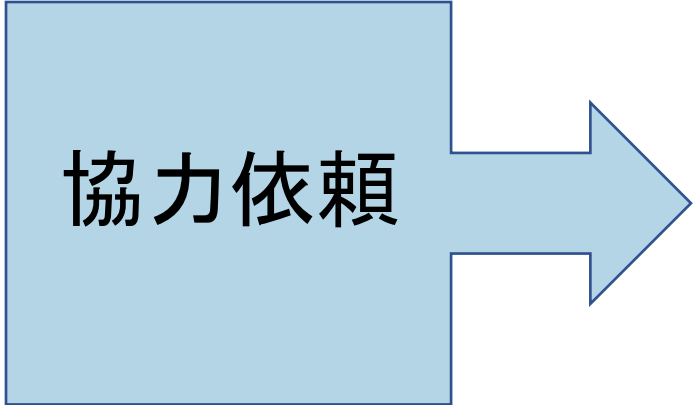
外国ルーツのこどもたちの日本語支援の現状は？



地域全体での支援体制が必要

活動報告 (1) 夏休み期間中の学習支援会

協力依頼



- 日本語クラブ周南
- 周南市国際交流推進担当
- 周南市教育委員会
- 周南市小・中学校校長会

こどもの日本語支援をおこないたい！

対象… 日本に来たばかりの日本語ゼロベースの子どもたち

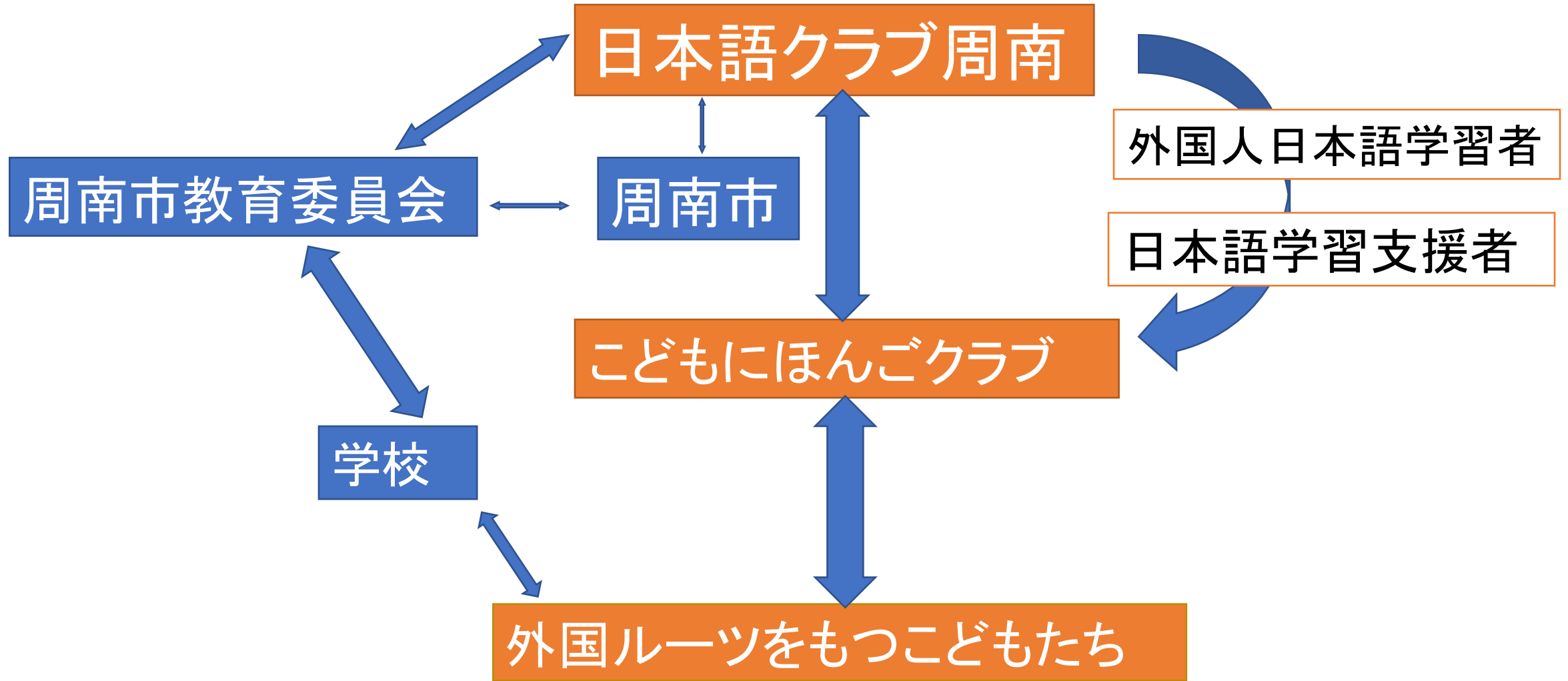
- 目的…
- ① 日本語を学ぶ機会と場所の提供
 - ② 地域やさまざまな人との繋がりができる
 - ③ 安心して楽しみながら参加できる



こどもにほんごクラブ

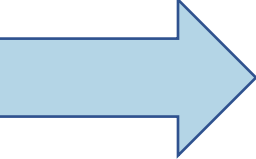
日本語能力を伸ばすだけでなく
持っている力を発揮できるきっかけづくりにする。

こどもの日本語教育支援連携目標



活動報告 (2) こどもにほんごクラブ

協力依頼



- 日本語クラブ周南
- 周南市国際交流推進担当者



- 試験的教室開催 令和4年 9月～12月
(月1回・第4土曜日)
- 冬期開催 令和5年 1月7日～2月25日
(毎週土曜日・計8回)

< 周知の方法 >

広告・市広報

SNS(Facebookなど)

新聞掲載

いっしょに **宿題** しませんか？

日時：8月4日(木)～8月6日(土)
午後(PM) 1:30～4:30

- じかんのあいだ いつきてもいいです
- お金・申込みは いりません

場所：周南市 シビタ交流センター 2F 交流室1
(山口県周南市岐山通1-1)

対象：周南地域に住む 外国ルーツをもつ子どもたち
その保護者のみなさん
(がいきくじんの こどもたち/おとうさん・おかあさん)

● 学校の宿題のしかたが わからない
● 夏休みのあいだ ともちと あえない
● 日本語が わずかしい
● 困っていること 相談したい

お問い合わせ先
TEL 093-22-3234 (山)

TEL 093-22-4372
E-mail: kobun@chuokyo-shi.jp

日本語教室のご案内です。

【受講料】①：15,000円(税込) ②：10,000円(税込)
【開講時間】日本語クラブ開講 前夜 TEL: 093-22-3234

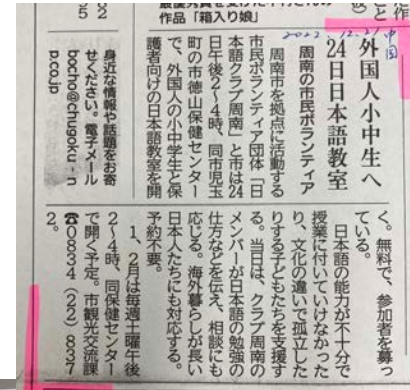
日本語でしゃべりやすくなる
【クラス】外国人ルーツの小学生・中学生と保護者
【開講日時】2023年6月～2023年8月 第2・4日曜日 10:00～11:30
【受講料】100円(税込)
【開講場所】日本語クラブ開講 前夜 TEL: 093-22-3234

子どもに読んであげる
【クラス】外国人ルーツの小学生・中学生の保護者・日本語教室
【開講日時】6月24日、10月22日、11月26日、12月24日 18:00～19:00
【受講料】無料
【開講場所】日本語クラブ開講 前夜 TEL: 093-5624-6643

〇場所 周南市岐山保健センター



外国ルーツの子 宿題手伝います
日本語クラブ周南、あすまで(山…
外国人向けの日本語講座などを開
いている日本語クラブ周南(石井和江…



< 現在の状況 >

1) 夏休み期間中の支援会



参加者はゼロだったが
周知により



情報提供により
個別対応

2) こどもにほんごクラブ



R.4年9月～12月…月1回開催

R.5年1月～2月…週1回開催

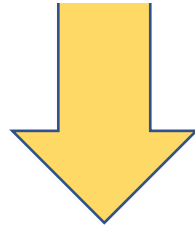
(毎回2～4名の参加者)



教室活動継続のための課題

① < I 参加者の確保 >

- 外国人住民の「子どもの日本語教育」に対する優先順位の低さ
- 教室までの移動手段の確保
- 保護者のサポート・付き添いの必要性

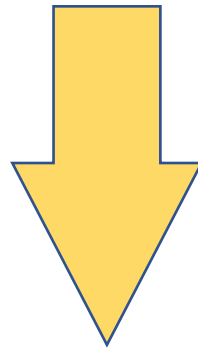


公的機関との連携により支援制度の拡充
学ぶ機会・場所を増やす取り組みへ

教室活動継続のための課題

①< II 日本語学習支援者の確保 >

- 個別指導の必要性
- 社会関係資本の拡充



- 地域の大学との連携によるボランティア日本語学習支援者の確保
- 広報などによる継続した周知

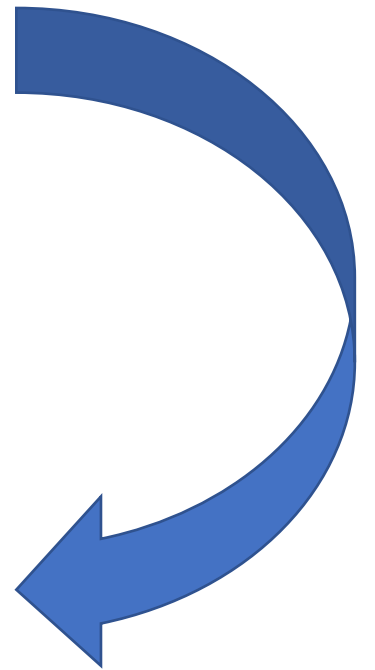
教室活動継続のための課題

② く 公的機関との繋がり く

- 外国人児童生徒の保護者への情報提供
- 「こどもにほんごクラブ」との連携による日本語教育の充実
- 学校・教育委員会による日本語教育が必要な児童生徒への対応の改善

① こどもにほんごクラブの実績を残す

② 当事者から声を上げてもらう



< コーディネーターとしての役割 >

協力要請

- 周南市国際交流担当
- 日本語教育関係者
- 周南地域の学校教育委員会
- 周南地域の小中学校

周知

外国ルーツを持つ子どもとその保護者

- 山口県内の一般市民
- 山口県内の関係機関

実行

- 子どもの日本語支援会の計画・開催
- 「こどもにほんごクラブ」活動計画
- 「こどもにほんごクラブ」実施

＜コーディネーターとして大切にしている視点＞

●PLAN・DO・CHECK・ACTION

まずは実践すること。変更はあっても良いので、活動を継続する。

●協力者を得る

一人では何もできない。活動をいろいろな場で周知することで、様々な情報、人脈を得ることができ、そこから協力を得ることにつながる。

●ライフコースの支援

子どもの日本語支援を長い目でとらえ、支援のあり方を考える。

最後に…

「こどもにほんごクラブ」 今後に向けて…

日本語の勉強だけのためではなく、子供達やその保護者が
日本で生活する中で社会関係資本を増やす場に。

情報を発信し、様々な分野との連携を行うことにより、無支援状態の
子どもたちに何らかの支援をつなげられる場に。

地域の子どもたちがライフコースを築く上での問題を共に考え、
エンパワーメントを行うための場に。

ご清聴ありがとうございました。